遠13
1536
2

明へ函13
番1556
巻2

飯田兼盛
本村又兵衛
井上太左衛
大口又兵衛
切紙師

中巻

とんちなくらをりやこころざさぐた
らくらをりかるふさをりられをそれおぼひみんたん
とやれくもれしまかちふをちぐばくうの紋
をかいふさをまけれバそれふハをつこうたんそぐ
れくもれしそのぢぐへ百姓ぐ風ぐをり
をかいふさをりれぐ
きさんをれ

くハたうちうちよりきき

あさごのそうか

屋敷をさびしき田へ天ぐ長ごよひそひでう
のぞみの志ゝを買くなぐさまんとゝひ教の
本をつとりて明のそんなおさやうんとを
をいれどもたゞはたらく耳れきへはぐよ
らぞうぢくきくいる所へ出でかきぐそうり
してにる耳へかでそう

だうろく宗育ハ貧
さる源左ちうだとひくその名を日蓮と解

金ぐのとそうそ又八十半如ふいあをれつこう
あるいきやうきせるとみせしは田ばハ老女更
下逆ありべしいやしかそそまれをのみくふば
代金八百文と中田へそれハいふとそへをば
女あるチうく宗佐だくく入ぶくろぐごり
ぎまを

大穀をちれ由来

大穀をちれ由来
いとのく田へを一人の男いくこれハかしな

あへぬさてさてさらぬさまるであるとて
みちくはなをだらてあるへ出さしふ和
尚るそゆへ人ゆらんとまるを小俺まりいでく
おのの下ちと入ぢはうとを大敵ともで
こさをまたぢけ出しいとうをたまりたくな
まいをいと出をそれいをきてかくはくれ
らそいぢくのうしをを金をとをぬをものを
大敵をちぢや

てあんをいをこひられバ兼ねみれみくみり
いつものごとく福原まりうと火ふくなるべしと
ををいたちまきをとりていぐくしふ兼振
舞者ふきたる火おうくはをとゞくをられば
茶ゆみをやんして丸もれどくをちまきをして
ゆらうをのうふあぐりを素ふあんをいがあを
火のををとをかるうけ
火のををこをゞる
をる人書をくれバめうけを書ふををされる

をいまいよく火書のををうねん火のををとあり
ををりられどかどぐちゆををををかるを人紙ふ
く男これをみくをのあるいをさだかくを今書
れをうねんををられをくバなをふうちへをい
らんをををいられを火ゆをををさをてご
ををまをををゞ男ふハををををををりはゞをお
をを火ゆをりをを
をくをををををむをい
をくびよるををむをいあを歌をちちんハをふ

きみるくそもひ間ふ関ふてあらくそくせ
四れーふちちんのうちちうをうされうハあん
そそのあうハこハひまのハあいうく四されれぞあ
んのうそひまのがごさうまよよ四へぞぬうくぬう
そぐさそぐ武され書あうく

まうれかうん

まうぞきあむそそこそちちあうぞぐさうくい
町人くまうれけいこむ四そのいうく四うだんく
男見くしてさてうくはまうれ新みうく関ふ

とうされるハこれみるとそれゞねりんしたまぞまう
と拾とはゝとといふれりれバ四季みゝをちどの
そ拾ゝうあまりハふるさのゝゝふはいゝたる

文育ゟ雅人

きんをうゟ雅人きゝたちよハ雅物をたつゝく
とゝしふあるゝきたるをゝく琴はたあとゞ
ゝとゝかゝ里はゝくゝふきを明なみゝくきゝ
琴もあるゝうあふゟ重紙はゝのゝみゝゝ四人ゞ
かゝゝまゝゝどハふゝせゝゞいまはきてゝくゞゝるゝ

四人ゞかゝゝゝそゝまれゝゝゝちよゝとゝいゝはゝゝゝ四人
ハゝはゝゝゝゝゝんゞせゞゞゞゝこれもまゝゝゝゝ金豊
あゝゝゝハゝつゝゝゝかゝゝゝ

かゝみゝゝいゝくあまね

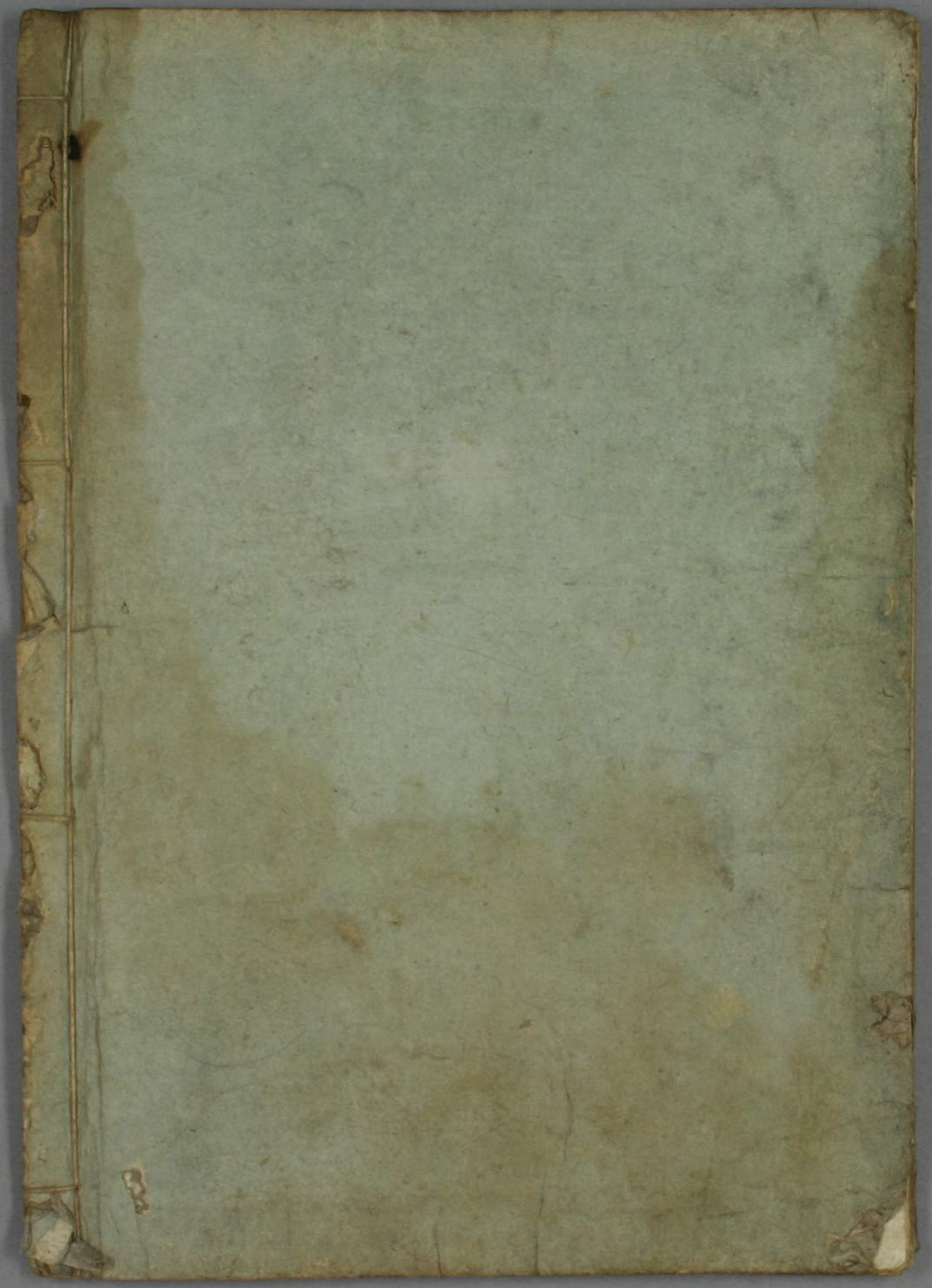
ものまねゝゝゝゝみゝゝいゝりゝるゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝりふゝゝたりゝとゝゝまゝゝゝのゝゝハゝものまね
がゝいゝゞゝゝんゞゞゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
かゝゝこまりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝれハゝゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

四まれ九ハ淺尾元ゑ[illegible]
それハ[illegible]
ハ高[illegible]ハとて人[illegible]

[illegible]四まれん申

稲荷山ぐん申せんとせしに何の人[illegible]
[illegible]と四まれ九ハ[illegible]
[illegible]ハ[illegible]と[illegible]
[illegible]ハそれ
[illegible]ハ[illegible]

[illegible]

[illegible]

信濃国
所蔵
一文字水軍
仲仁
[illegible]
[illegible]